

組織目標評価報告書(2019年度)

部局名:

情報統括センター

部局長名:

村上昌己

目 標		目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組 (部局での検証とそれに対する取組)
①教育領域		
	目標に関連する 年度計画の番号	教育領域の目標の達成状況及び新たに生じた課題への取組
①全学の情報リテラシー教育と情報セキュリティ教育の質向上に取り組む。 ②教育におけるICT環境を更に充実させ、円滑な教育へのICT活用を支援する。 ③利用者相談室における学生サポート(外国人留学生含む)を充実させる。	90-1	①当センターが主導して、全新生を対象として情報リテラシー教育を実施した。特に近年重視されている情報セキュリティ対応能力の向上を図った。 引き続き、情報セキュリティe-Learning、自己点検を実施するとともに、システム管理者、システム利用者及び役員・部局長向けのセキュリティセミナーを開催した。また、留学生向けには、「Information Security Guide」の配布に加え、著作権関係のe-Learning教育を実施した。 ②情報統括センターの建物改修に伴って新たに設置したアクティブラーニングスペース運用を6月に開始した。試験期間中に自習スペースとして開放したほか、大学生協が主催するPCスキルアップセミナーに施設を貸し付け、有効活用方法等についての意見交換を通じて、今後のアクティブラーニング環境の効果的活用を検討し、特に要望が高かった映像分配システムを新たに整備した。 ③建物改修に伴い、学生が持ち込むPCのサポートが効果的に行えるよう利用者相談室の環境を整備した。また、自動翻訳機を導入するなど、留学生へのサポート充実を図った。
②研究領域		
	目標に関連する 年度計画の番号	研究領域の目標の達成状況
①情報統括センター業務に関連する研究を推進する。 ②科研費等、外部資金への応募を促進する。	特になし	【論文・発表】 ・センター系協議会第23回学術情報処理研究集会 大隅 淑弘, 河野 圭太, 村上 昌己 【科研】 応募件数: 2件
③社会貢献(診療を含む)領域		
	目標に関連する 年度計画の番号	社会貢献(診療を含む)領域の目標の達成状況
①ICTに関する公開講座を実施することにより地域貢献する。 ②放送大学岡山学習センター等の非常勤講師を務めることにより地域貢献する。 ③大学共同利用機関法人等の委員を務めることにより社会貢献する。	特になし	①「インターネットの安全利用技術」と題した公開講座を実施し、37名が受講した。アンケートの結果、「とても満足」及び「満足」であるとの回答が80%であった。 ②放送大学: インターネットのための英語入門 8コマ 放送大学: インターネットとセキュリティ 8コマ ③国立情報学研究所: 学術認証運営委員会運用作業部会 委員 大学ICT推進協議会: 認証連携部会 運営委員
④管理運営領域		
	目標に関連する 年度計画の番号	管理運営領域の目標の達成状況
⑤センター・機構等業務に記載	—	⑤センター・機構等業務に記載
⑤センター・機構等業務		
	目標に関連する 年度計画の番号	管理運営領域の目標の達成状況
①多様な学修ニーズと教育のグローバル化に対応し、学術情報・設備・環境を活用した学修・教育体制を強化する。 ②教育研究活動を支援するため、安全安心なICT基盤サービス及びネットワーク基盤を提供する。 ③情報セキュリティを確保するため、情報セキュリティ対策への取組を継続する。 ④学内外のデータを収集し、分析を行うIR/IE室の機能強化を支援する。	14-4 45-1 67-2 90-1	①学生の持込PCを用いた授業を実施するための無線LAN環境を充実させるため、学務部が実施した講義室の無線アクセスポイントの調達を支援するとともに、76台のアクセスポイント設置のための設定作業を行った。これにより全学の無線LANカバー率は62%となった。 ②平成29から30年度に整備した学内の基幹ネットワークサービスについて、障害の予兆監視や必要なメンテナンスを行いながら運用を行った結果、重大なネットワーク停止等の障害発生はなかった。また、津島-鹿田間の光ファイバー回線故障した際にも正常に待機系回線に切り替わり、100%の可用性を維持し無停止で運用を継続した。 ③文部科学省からの通知に基づき、「岡山大学におけるサイバーセキュリティ対策等基本計画」を策定し、従来の取り組みの再検討を含めた対策強化を進めた。令和元年度には、先端的な技術情報等の漏えいの防止対策として、機微情報保有調査を実施し機微情報の保有状況を把握するとともに、保有者に対してチェックリストによる当該情報の保管状況について自己点検を実施した。10月に岡山大学CSIRTを対象として、従来の取組を再検討したインシデント対応訓練を実施したほか、2月には最高情報セキュリティ責任者(CISO)、岡山大学CSIRT及び部局等の担当者が連携してインシデントに対応することを目的としたインシデント対応訓練を行った。 また、文部科学省から電子メールの自動転送禁止のルール化についての要請があり、本学ではすでにルール化済みであったが、さらなる対策として「電子メールの自動転送禁止」の厳格化を進め、教職員に周知した。 ④蓄積した教職員情報や学生情報を利活用することにより、教職員、学生のデータなど業務に必要な47件のデータ提供を行った。また、データの可視化を進めるためのサンプルとして、研究力の分析に資する標準化データを分析し、IR/IE室に提供した。